

平成22年5月31日

報道各位

敦賀市教育委員会 文化振興課

向出山1号墳出土甲冑保存処理に伴う公開について

向出山1号墳出土の冑（かぶと）、頸甲（あかべよろい）の保存処理について、平成21年度時点での詳細な調査の結果、全国的にきわめて希少なものと判明しましたので、下記のとおり一般公開をいたします。

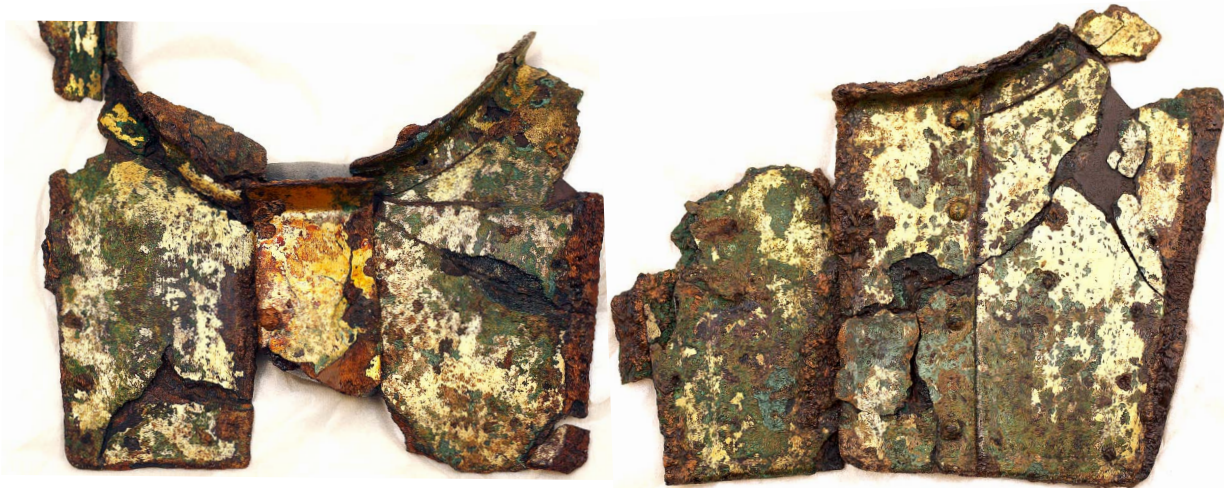
- 1 公開予定日 平成22年6月9日（水）から18日間
  - 2 公開場所 敦賀市立博物館（速報展「敦賀の考古学最前線」6/9～7/11）
  - 3 保存処理について
    - ・対象物 3点  
平成20年度：鉄地金銅装頸甲（てつじこんどうそう あかべよろい）  
平成21年度：鉄地金銅装眉庇付冑A（てつじこんどうそう まびさしつきかぶとA）  
平成22年度：鉄地金銅装眉庇付冑B（                   "   "   B）
    - ・所有者：私立敦賀郷土博物館（八幡神社）
    - ・私立敦賀郷土博物館が行う保存処理に、敦賀市が補助をした。
  - 4 出土甲冑の意義
    - （1）古墳時代中期（約1500年前）における、その装束（金銅装）を身につけられることは、角鹿の王が朝廷の中でもきわめて高い地位にあった可能性がある。
    - （2）古代においても、大陸との交流に敦賀の港の地位が重要視されていたことを示している。
  - 5 今後の活用については、私立敦賀郷土博物館、市立博物館で積極的な展示公開を行う。また、展示用と屋外などでの使用可能な簡易レプリカを作成し、講座、校外学習等で活用していく。
- \* 報道関係公開 本日（31日）13時より、敦賀郷土博物館（八幡神社）で公開します。

担当：文化振興課 中野  
電話：22—8153（内線433）

向出山 1 号墳出土 鉄地金銅装頸甲の保存処理



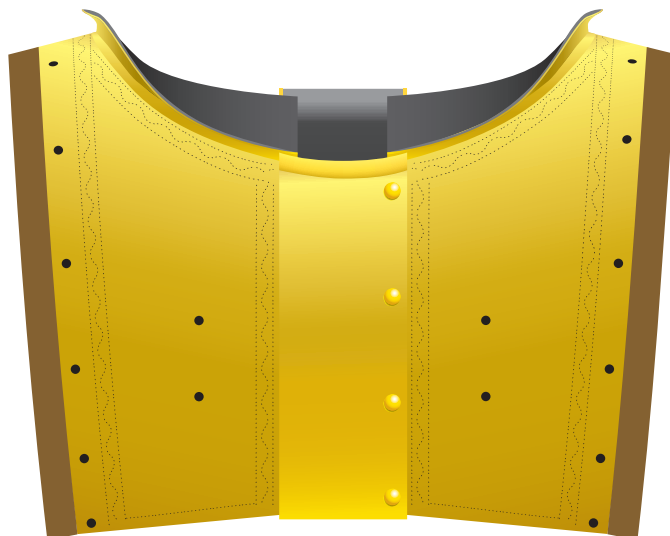
保存処理前



保存処理後

背面

正面



復元想像図

向出山 1 号墳出土 鉄地金銅装眉庇付冑の保存処理



保存処理前



保存処理後



復元想像図